

# ONE TEAM

津幡町立津幡中学校  
1年学年だより9号  
令和6年7月17日(水)  
津幡中学校長 泉 智一  
1学年主任 上谷 知未

## SNSの使い方について考えよう ～ ピュアキッズスクールより ～

先月12日に、津幡警察署の橋本さんをお迎えし、ピュアキッズスクールを実施しました。この授業は、社会のルールやきまり、約束について考え、正しい判断や行動ができるようになることをねらいとして、警察署と学校が協力して行っている「非行防止教室」です。

今回は、「SNSでのトラブル」を取り上げました。実際にあった事件をもとに、警察官の橋本さんから出される質問を通して、「どのような使い方がいけないのか」「どんな行為がどんな犯罪になるのか」「SNSがどのように人を傷つけているのか」「こんな場面で自分はどうすればよいのか」などについて「想像力」を働かせながら考え、自分の考えを発表し合いました。

これから迎える夏休みは、スマートフォンやタブレット端末等の使用が増える時期です。1年生のみなさんは、ピュアキッズスクールで学んだことを思い出し、自分も相手も大切に使う使い方を心がけ、「SNSでのトラブル0（ゼロ）の夏休み」を過ごしましょう。

以下は、みなさんが書いた感想文の一部です。

- 1文字つけないだけで、いじめの加害者や被害者になるのは、とてもびっくりした。インスタやツイッターで顔も名前も知らない人とあまり関わらない方がいいと分かりました。ネットに悪口を書くだけで「名誉毀損罪」や「侮辱罪」という犯罪になるのを初めて知りました。自分が知らない間に犯罪を犯していたら、親がお金を支払わないといけないから注意していきたいです。これから使い方に注意していきたいです。
- 同級生のみんなと仲良くLINEするのも楽しいけど、勘違いでケンカになることがあるかもしれないので、そこで一緒に「だよねw」や「それなw」などと言わないようにしたいです。もし、いじめの被害を見てしまったときは、すぐに家族や警察の方に相談したいです。
- やはりネット上だけの友達には、疑いの目を光らせ、本当に心を許していいのか、信じていいのかをよく考えてネット上の友達と関わりをもとうと思う。
- 話を聞いて、ネットは怖いもので十分注意して使わなければいけないと分かりました。ネットで被害にあってしまうと、友達や親、学校の先生など、たくさんの人に迷惑をかけてしまうんだなと思うとすごく怖いし、ネット上でのやり取りや言葉づかいには、ちゃんと注意してコミュニケーションを取りたいなと思いました。そして、今、信頼できている友達を大切に毎日過ごしていきたいなと思いました。



裏面へ続く

- SNS上はどんな人だとか名前も知らない人ばかりだから、SNSの知らない人に悩み事を書いたり、やさしい言葉にひきつけられたりしないようにしたいです。
- 私も実際SNSで嫌な気持ちになったこともあるし、知らない間にだれかを傷つけていたことがあるかもしれないと思いました。自分のスマホの使い方に気を付けて、いじめなどのトラブルにつながらないように努力していきたいなと思いました。
- 私は、ネットでのトラブルは1回も起こったことはないけど、これからもっといっぱいの人と関わると何かトラブルが起こってしまうかもしれないから、トラブルが起こる前に気をつけたいと思いました。
- SNSの使い方に十分気を付けて使いたいです。A子、B子、C子さんのようにならないためには、何も考えずにすぐ行動するのではなく、やる前に考えて行動したいと思いました。あと、C子さんの場面で、「!」や「?」マークがなかっただけで、無視やいじめにつながる事が分かりました。これからは、人を勘違いさせる行動や発言をしたくないなと思いました。
- 本当にあった話で一番怖かったのは、家出したいや苦しい、自殺したいなどの思いをネットに書き込み、初めて知り合った人を優しい言葉などで誘拐して、殺したりしたというのが怖かったです。僕は、そのようにならないよう気をつけます。そんなことがあっても親や先生、大人などに相談して、楽しい人生を送っていきたいと思います。
- この話を聞いて、あらためてメディアの怖さを感じました。自分には被害がないと思っていても、いつの間にか加害者にも被害者にもなっているかもしれないから、注意しながら上手に使っていきたいです。
- SNSやインスタ、T i k Tok、Xなどで、「自分の顔」や「下着姿」などを投稿するのは、とても危ないことだと分かりました。実際に誘拐されたり、殺されたりしている人も多いと思います。私は十分気をつけたいと思いました。



## 保護者の皆様へ

情報端末にはスマートフォンや携帯電話、パソコンの他にゲーム機器などがあります。中学生から高校生にかけての時期は、お子様がこれらの情報端末を持つようになる時期です。

とても便利な機器である反面、正しい判断力やしっかりした自制心が身に付いていない状態で使うと、自分のよくないところを増幅させてしまうのがこれらの情報端末です。特に中学生で多いのは、人の悪口を書き続ける、夜更かしをして健康を害す、勉強がおろそかになるなどの事例です。

学校では、今回の『ピュアキッズスクール』のような「情報モラル教育」を行っておりますが、これらの情報端末の適切な使い方を教えるのは、お子様に情報端末を持たせる保護者の責任となります。日頃から、お子様とよく話し合い、ルールを決めて正しく使えるよう、ご家庭でのご指導をお願いいたします。上記の生徒の感想、保護者懇談会で配付される冊子（『親子のホットネット大作戦～保護者に知ってほしいこと、家族で一緒に考えてほしいこと～』）をもとに話し合っただけならば幸いです。

なお、本校では、スマートフォンや携帯電話等の情報端末の学校への持ち込みを禁止しております。